

(別記)

## 2020 年度宇城市農業再生協議会水田フル活用ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、熊本県のほぼ中央に位置し、全耕地面積に占める水田の割合が 55%であるが、基盤整備率が 44%と整備が遅れており、土地利用型農業の生産性向上のため、基盤整備等をより一層進め、二期作が可能な圃場に改良する必要がある。

平野部では水稲に野菜、たばこ、花卉、果樹などを組み合わせた複合経営が中心であるが、高齢化・後継者不足による問題も顕著に出てきている。中山間地でも果樹を中心とした複合経営が行われているが、同様に農家戸数の減少がみられる中で不作付地の拡大が進んでおり、集落・水田機能の維持が課題となっている。地域内の 2 6 8 0ha の水田（不作付地 6 6 . 9ha を含む）については今後積極的に各種事業を活用しながら、農地の集積を誘導するとともに、担い手の確保を行い、水田をフルに活用していく必要がある。

### 2 作物ごとの取組方針等

#### (1) 主食用米

主食用米は、売れる米づくりの徹底により、「森のくまさん」・「ヒノヒカリ」・「くまさんの力」を中心とした良食味型の産地としての産地形成を図る。また農家所得を確保するため、生産数量については前年の需要動向等を勘案した量を確保する。協同機械利用組合や協同営農施設利用を促進することにより、生産コストの低減を図り、施設園芸等との複合経営が可能な生産体制の推進を行う。

#### (2) 非主食用米

##### ア 飼料用米・米粉用米

主食用米の需要減が見込まれる中、転作作物の重要な品目として位置付け、「あきまさり」を主軸に収量の増に努めることとする。また、産地交付金を活用して、飼料用米生産ほ場への堆肥散布や、稲わら利用による耕畜連携制度を推進し、増収による所得向上と資源循環システムの構築を図る。

##### イ WCS 用稲

宇城市管内の畜産農家への安定的な供給を目的に取り組む中、畜産農家の適切な需要量の把握、栽培管理の適正化に努めることとする。また、産地交付金を活用して、WCS 生産ほ場への堆肥散布による耕畜連携制度を推進し、増収による所得向上と資源循環システムの構築を図る。

##### ウ 加工用米

加工用米についても飼料用米同様、新規需要米を転作作物の重要な品目として位置付けている。そのため、産地交付金を活用し地域農業水田ビジョンに位置付けた担い手の作付や団地化の取組を支援し、主食用米に劣らない収益性を確保し増産を図る。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦・大豆については基盤整備事業等の事業実施地区から推進を行い、それ以外にも作付可能な地区には順次推進を行い、生産性の高い優良品種への転換、機械の導入による省力化・機械化体系の構築、団地化の推進などを進めていくこととする。

また、産地交付金を活用して、飼料用作物ほ場への堆肥散布による耕畜連携制度を推進する。更に二毛作についても助成し、施設園芸等との複合での経営行う必要があるため、機械利用組合等の組織化についても推進を行う。

(4) 高収益作物（園芸作物等）

当地域は施設園芸が主要品目であるため、今後も引き続き各種事業を活用しながら、担い手による経営の継続・発展を図り、高単価で安定供給が可能な生産体制を推進する。

### 3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面 積 (ha)	2020 年度の作付目標 面積 (ha)	2021 年度の作付目標面 積 (ha)
主食用米	1,655ha 8,410 t	1,651ha 8,404 t	1,651ha 8,387 t	1,651ha 8,404 t
飼料用米	69.6	75	77	77
米粉用米	5.0	5	5	5
WCS 用稲	319.5	310	310	300
加工用米	69.2	70	85	72
麦	61.0	64	70	70
(基幹)	(3.5)	(4)	(7)	(7)
(二毛作)	(57.5)	(60)	(63)	(63)
大豆	13.1	15	18	17
飼料作物	92.1	94	89	98
(基幹)	(11.2)	(12)	(13)	(13)
(二毛作)	(80.9)	(82)	(76)	(85)
その他地域振興作物	373.4	378	390	378
野菜	359.6	370	370	362
花卉、花木	11.0	13	13	12.0
果樹	0	1	1	1
その他作物	2.8	6	6	3
地力増進作物	34	18	10	15

※主食用米の目標値（2020、2021 年度）において使用した単収は 509 kg/10a

※主食用米の目標値（2020 年度）において使用した単収は 508 kg/10a

#### 4 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
				2019年度	2020年度
1	飼料用米	担い手助成（基幹）	作付面積の拡大	56.0ha	65.0ha
			収量増加	520kg/10a	590kg/10a
	加工用米		作付面積の拡大	65.7ha	85.0ha
			収量増加	508kg/10a	515kg/10a
	米粉用米		作付面積の拡大	5.0ha	(5.0ha) 7.0ha
			収量増加	516kg/10a	590kg/10a
	大豆		作付面積の拡大	11.3ha	20.0ha
			収量増加	158kg/10a	180kg/10a
麦	作付面積の拡大	3.5ha	7.0ha		
	収量増加	339kg/10a	(235kg/10a) 350kg/10a		
2	麦	麦・飼料作物 二毛作加算（二毛作）	作付面積の拡大	57.5ha	65.0ha
	飼料作物			81.0ha	(80.0ha) 83.0ha
			水田利用率	104.24%	(103.97%) 104.30%
3	飼料作物・WCS 飼料用米	資源循環の取組 （基幹・二毛作）	取組面積の拡大	172.7ha	(160.0ha) 175.0ha
	飼料用米・米粉 用米	わら利用の取組 （基幹）		6.7ha	(18.0ha) 10ha
				実施率	44.3%
4	野菜	地域振興作物助成 （基幹）	作付面積の拡大	359.6ha	370.0ha
	花卉・花木			11.0ha	14.0ha
	果樹			0ha	1.0ha
	その他			2.8ha	7.0ha
5	加工用米	団地化加算助成 （基幹）	取組面積の拡大	24.1ha	(22.0ha) 26.0ha
			取組割合の拡大	34.9%	(24.0%) 37.0%
6	地力増進作物	連作障害回避助成 （基幹）	反収増加	4,374kg/10a	4,900kg/10a (2022年度)
7	野菜	高収益作物等拡大 加算（基幹）	作付面積の拡大	359.6ha	377ha (2021年度)
	花卉・花木			11.0ha	14ha (2021年度)
	果樹			0ha	1ha (2021年度)
	その他			2.8ha	7ha (2021年度)
	加工用米			69.2ha	87ha (2021年度)

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。